

インスピレーションになろう

BE THE INSPIRATION



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 五味 潤秀幸

幹 事 手塚 正智

会報・雑誌委員長 吉田 恭平

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ 例会日 毎週火曜日(12:30~) 事務局 宇都宮市東宿郷3-2-5-803 TEL.028-638-5125 FAX.028-638-5128

通算2814号 2018年11月20日(晴れ) 第20回例会 会員数122名 列席81名 出席率73.83%



点 鐘 五味 潤会長
司 会 副SAA 細谷 会員

- ◇ロータリーソング「奉仕の理想」
- ◇本日のランチ 和定食



ビジター紹介 稲見 副会長

- ◇卓話講師
宇都宮市長 佐藤栄一様(名誉会員)
随 行 小林輝久様

会長挨拶 五味 潤会長

皆様、こんにちは。本日は当クラブ名誉会員の佐藤栄一宇都宮市長から「宇都宮のまちづくり」という卓話があります。宇都宮市だけではなく、日本は少子高齢化の時代に突入しております。行きつくところが、人口減少や労働力の不足です。一人の高齢者を何人の若い人達で支えるのか…。中央では外国人の労働力の受け入れ拡大の検討等がされています。宇都宮でも問題は多いと思います。第6次の宇都宮市の総合計画に着手しているところと思いますが、LRTも含めいろいろなお話が聞けるとと思います。最後までご静聴よろしく申し上げまして挨拶とさせていただきます。



幹事報告 手塚 幹事

- ◇地区より 地区大会開催日変更の件の報告
今年度地区大会本会議時に13号決議として地区大会日程が2019年11月16(土)~17(日)と上程可決されましたが、「国際ロータリーゾーン1、2、3の第48回ロータリー研究会(神戸にて開催)」と重複している事が判明し、関係各位と協議の結果、2020年11月9日(土)~10日(日)に変更致したい旨の文書が届きました。



委員会報告

- ◇スマイルボックス委員会 八田委員
鈴木 明会員

11月18日の大人の休日ゴルフ大会にて、ハンディに恵まれ優勝する事ができましたのでスマイルします。

- ◇出席委員会 轟委員長

<皆出席表彰・10月分>

- 通算22年 今泉 臣夫会員
- ◇米山記念奨学会 辻 会員
ハイライトよねやまVol224をレターBOXに配布。サ・ソチア君の記事が掲載されています。



卓 話

「宇都宮のまちづくり」

宇都宮市長 佐藤栄一様(名誉会員)



皆様、こんにちは。卓話にお招きいただきありがとうございます。先頃、名古屋で河村市長とお会いしました。2037年にリニアモーターカーが大阪に延伸し、名古屋が通過点になってしまうかもしれない、そうならないために、名古屋で人が降りてくれるという魅力を今から作

らないと大変なことになる、とお話されてきました。今日は、「持続発展を目指したまちづくり～未来都市うつのみや～」ということで、宇都宮は人口減少・超高齢化社会の中でも、しっかりと持続発展できる、これからの世代が我々を支えやすい社会をいかにつくっていくか、という話をしたいと思います。

宇都宮の強みは延ばしていかなければなりません。餃子、いちご、カクテル、ジャズ、プロスポーツは、発信しやすい、宇都宮を知っていただけるということで、これからも力を入れていきます。宇都宮の人口は現在約52万人ですが、行政が何もしなければ、2050年には約45万人に減ります。また、現在、4人に1人が65歳で、これも何もしなければ、2050年にはほぼ肩車状態になります。高齢者の交通事故数も増え、免許証の自主返納は、この4年間で2倍以上に増えています。車社会の宇都宮なので、公共交通の利用者が減って、赤字路線はやがて廃線になるという状況になっていますが、当然、車の運転が出来なくなる時代が来ます。その時のために公共交通網をしっかり作っていく必要があります。

人口減少社会は税収も落ちますので、都市基盤の維持、管理が出来なくなります。古い橋の架け替え料、古い公共の建物の除却をするお金がなくて、放っておく、汚い建物、見苦しい橋が残り、都市の魅力が無くなると、皆さんの自宅や土地といった資産価値も減っていくことになります。社会資産の価値が低下し、選ばれないまち、誰も寄り付かないまち、衰退するまちになってしまいます。少ない現役世代でも我々を十分支えるまち、それが、ネットワーク型コンパクトシティです。中心部だけではなく、調整区域のような外周部も、病院や銀行、スーパー等、日常生活に必要なものを全部まとめてコンパクト化していく、移動しなくてすむ、その中に地域内交通、デマンドタクシーをきちんと配備すれば、若い人、現役に負担がなく、自力で生活出来るまちに仕上がって参ります。このネットワーク型コンパクトシティに必要なものは公共交通です。これから、バス路線を相当数増やします。それを支えるのがJR線の南北線とLRTによる東西線です。

宇都宮の強み、実力ですが、中核市54市の中で年間商品販売額が3位、製造品出荷額が6位、農業産出額は5位、財政力指数は3位です。住みよさ度調査では、5年連続1位、また、新しい指標として、共働き世代の子育てがしやすいまち調査では全国1位という評価をいただきました。こうした魅力を市民一人ひとりの皆様に、外にPR

していただければ、宇都宮は良いところと理解していただけたと思います。人や企業から選ばれるまちとなります。

－ LRTの最新DVDを観賞 －

デザインが決まりました。宇都宮は雷都ということで黄色がベースです。流線形です。公共交通をきちんと作り上げて、人や情報が行き交うまちを作って参ります。

－ 各種イベントの映像観賞 －

交流人口を増加させる、お金を落とすという、ということで、3×3、バスケットボールの3人制の大会になりますが、ワールドツアーうつのみやマスターズを3回宇都宮で開催致しました。また、ジャパンカップサイクルロードレースでは、約15万人がお見えになります。3×3は来年、決勝を宇都宮で開催したいと思っています。東京オリンピックでは正式種目となります。出場チームを宇都宮で記者会見し発表する段取りで動いております。

宇都宮市の一年間の観光客の入込数は、1,498万人です。年々増えています。ただ、宿泊者数が159万人で、本来であればその入込数からすると250万～300万人いてもおかしくないと思います。問題は、一日たっぷり観光出来る場所がないということです。今、大谷に力を入れています。今年5月には日本遺産の認定をいただくことができました。3年間、国からお金が入ってきます。徹底して大谷に人を呼ぶという秘策を作って、宿泊客を増やしていきたいと思っています。また、2022年には国体が栃木県で開催されます。これも多くの人が来ます。

オリオン通りですが、中心市街地が疲弊していて、人っ子一人歩いていない、歩いているのは猫だけだということが、15年位前に言われました。まちなか活性化委員会を立ち上げて、中心市街地の人達といろいろな手を打ってきました。宇都宮市が行なってきた空き店舗の家賃補助、内装補助もあり、街中が活性化してきました。国土交通省の大臣からも全国で中心市街地の活性化の成功例だという評価をいただきました。

いよいよ駅東口が動き出します。野村不動産を代表とするシンフォニーというグループが交渉権を得てこれから開発に入ります。コンベンションホール、交流広場、産業施設、商業施設、シティホテル、高度医療施設、リハビリセンター等、計画があります。より磨きのかかったまちづくりを進めていきたいと思っています。ロータリーアンの皆様方には、これからも宇都宮のまちづくりに様々なアドバイスをしていただければと思います。宜しくお願いいたします。